

# 2011-12年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2012年1月10日(火) 12:00～15:30

場 所：ライオン誌日本語版事務所

出席者：国際理事	秦 従 道 (宮城県・仙台コア ライオンズクラブ)
国際理事	高田 順一 (富山昭和ライオンズクラブ)
委員長	澁田 繁晴 (337複合地区／福岡県・飯塚ライオンズクラブ)
編集長	後 藤 忍 (331複合地区／北海道・函館グリーン ライオンズクラブ)
委員	宇田川雄弘 (330複合地区／東京練馬ライオンズクラブ)
委員	種市 一二 (332複合地区／岩手県・釜石ライオンズクラブ)
委員	高濱 正敏 (333複合地区／茨城県・日立中央ライオンズクラブ)
委員	矢口 武克 (334複合地区／静岡県・浜松ライオンズクラブ)
委員	竹本 實生 (335複合地区／大阪府・池田ライオンズクラブ)
委員	小田 邦雄 (336複合地区／岡山西ライオンズクラブ)
330複合地区議長	小峰 理孝 (埼玉県・浦和ライオンズクラブ)
332-B地区ガバナー	高橋 晴彦 (岩手県・和賀ライオンズクラブ) ※オンライン
332-C地区ガバナー	中嶋 慶次 (宮城県・栗原若柳ライオンズクラブ) ※オンライン
332-D地区ガバナー	久保田善九郎 (福島県・郡山東ライオンズクラブ) ※オンライン
ITアドバイザー	莊 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ) ※オンライン
ITアドバイザー	小柴 登司 (沖縄県・浦添ウエスト ライオンズクラブ) ※オンライン
法律顧問	坂入 高雄 (東京銀座ライオンズクラブ)



澁田委員長の開会あいさつに続き、秦、高田両国際理事のあいさつと国際関係報告、小峰議長の議長連絡会議におけるライオン誌関連事項の報告があり、その後、澁田委員長、後藤編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. 被災地 地区ガバナーとのウェブ・ミーティング打ち合わせ

13時から実施する被災地 地区ガバナーとのウェブ・ミーティングに先立ち、進行方法と質問事項について打ち合わせた。332-B、332-C、332-D各地区ガバナーから10分程度、現状に関する説明をして頂いた後、主にライオン誌として協力出来る点などについて、各地区ガバナーから意見を伺うことにした。

### 2. ライオン誌日本語版事務所の運営(別紙-月次決算報告)

事前に送付された2011年11月度の月次決算報告をもとに、会計担当者から現況が説明された。今月は同梱広告が入ったことによる若干の収入増で約64万円の収支差額が出ており、累計の収支差額は2,475,281円となっている。

### 3. 2012年5月号以降の本誌印刷会社選定

印刷会社からの見積をもとに検討した。金額的には甲乙付けがたいが、色校正後の訂正代の有無や用紙代の固定・変動などの条件を勘案し、5月号以降も現在の共同印刷に発注することを決定した。なお、今回の合見積により、5月号以降は印刷代が総額で月額80万円の値下げとなる。

印刷コストの削減に関連して、澁田委員長からライオン誌日本語版事務所の運営についてこれまでの経過なども交え説明があった。一つには、長く事務所の運営や本誌の制作を見てきた小柴登司ITアドバイザーから澁田委員長あて、中期的展望に立つと次世代の編集スタッフの育成が必須との提言があったこと。また、鈴木所長からは、退職する職員1名の補充は歴史的円高を背景に見送り、当面は現有スタッフで乗り切る方針を表明したが、予想以上の印刷費削減が実現したため、現状でも不足している編集スタッフの増員を検討して頂きたいとの要望が出されていることが紹介された。各委員からは、総収入に占める人件費の割合が適正であれば増員可、外注比率を上げて乗り切ることも考えられるが将来展望を考えると補充は必要などの意見が出された。これを受け澁田委員長からは、情勢が変わったとはいえ、一度委員会で方針決定をしているので、すぐに補充を考えるということではなく、事務所の業務内容と職務分掌なども再確認しながら、次回以降の会議で中期的展望に立った事務所運営について検討したいとの考えが示された。

### 4. 被災地 地区ガバナーとのウェブ・ミーティング

高橋晴彦332-B地区ガバナー、中嶋慶次332-C地区ガバナー、久保田善九郎332-D地区ガバナーの順にそれぞれ地区内の状況を説明して頂いた。続く質疑応答では、ライオン誌に対する要望も含め、特に当委員会として協力出来る分野があるかどうか各地区ガバナーの意見を伺った。その中では、これまでも被災地で取材活動を実施し、誌面を通じて取り上げてもらっているが、月刊誌の宿命で速報性に欠ける部分がある。被災地のニーズを早く全国のライオンズに向けて発信するためには、ライオン誌のウェブ・マガジンなどで情報提供してもらえるとありがたいなどの要望があった。

### 5. 1月号(12月20日見本/103,200部発行)出来

主要記事を紹介し、委員から意見を求めた。

### 6. 2012年2月号月号記事内容の確認

事前に送付された2月号校正をもとに、記事の内容が検討された。THEMEは「自然エネルギー最前線」。「被災地のライオンズは今」では、LCIF交付金を使った大規模支援事業の一つ大船渡屋台村に対する332-B地区の支援活動と、大船渡市内のライオンズクラブ取材した。「ライオンズ・ニュース・カセット」欄ではLCIF用途指定交付金による在宅被災者支援活動と、復興支援対策本部から提供された「日本ライオンズ東日本大震災義援金使途内訳」を掲載している。その他、PICK UP「メンター・プログラム」、釜山国際大会案内、釜山国際大会代議員資格証明用紙(指定記事)、国際平和ポスター・コンテスト複合地区最優秀作品紹介などを掲載。また、議長連絡会議主催の会員増強アワードの応募要項のために、表紙2のスペースを提供している。

### 7. 2012年3月号以降台割(案)と主要記事予定

2012年3月号から5月号までの台割案が提出された。

3月号はTHEME「LCIF」、PICK UP「女性会員(GMT)」、「国際理事会だより：山田實絃アポインTEE」、「編集室：矢口武克委員」。

高田国際理事から、4月にケイ・K・フクシマ元国際会長を中心とした会員セミナーが計画されており、具体案が決まったら本誌に告知もしくは紹介記事を入れてほしいとの要請があり、3月号で対応することになった。

3月号に335複合地区と337複合地区から広告出稿企業の紹介を頂けることになりそうだが、337複合地区からは見開き、もしくは表紙4での出稿が可能か、またその場合の料金はどうかという照会があった。検討の結果、複合地区を通して出稿してもらう会員企業の場合、本文1ページと同じ割引率を適用することを決定した。

4月号はTHEME「東日本大震災から1年」、PICK UP「クラブ支部 (GMT)」、「国際理事だより：山浦晟暉理事」、「編集室：高濱正敏委員」。「東日本大震災から1年」は追跡取材を続けている岩手県・陸前高田、宮城県・南三陸志津川両クラブのその後を取り上げる。また、LCIF用途指定交付金を活用した支援事業を取材する。併せて、東日本大震災復興支援対策本部の承認を受けた332複合地区申請事業のリストやLCIF特別財政支援及びライオンズ運営センター設置補助の支援概要を掲載するためデータや資料の提供を対策本部に、LCIF用途指定献金の国別内訳のデータをLCIFに、それぞれ依頼することになった。

5月号はTHEME「植樹キャンペーン」、PICK UP「若手会員 (GMT)」、「国際理事だより：秦従道理事」、「編集室：種市一二委員」。若手会員はレオ出身の会員による座談会を企画する。

この他の主要記事では6月号PICK UPを「年次大会」、7月号THEMEを「クラブ運営」とし、今後、各地区、各クラブからの情報提供を得て具体的な企画を練ることとする。

## 8. その他

- 福岡OSEALフォーラム組織委員会から、本誌を通じたPR及び組織委員会で企画している各種セミナーや物産展の出店募集などへの協力要請があった。7年ぶりに日本で開催されるフォーラムでもあり、ライオン誌として出来る範囲で協力していくことを了承した。
- 議長連絡会議での報告を経て、秦国際理事から改めて、国際大会参加者アンケートへの協力要請があり、これを了承した。次回会議前の12時から打ち合わせを行う。
- 本日午前中に、田中寿一会則委員長連絡会議世話人から澁田委員長、後藤編集長あて発信された「ライオン誌2011年12月号データ転載許可および原稿のお願い」のコピーが、各委員に配布された。データ転載は了承、原稿は次回会議で検討の上、指定された期日2月17日までに送付することとする。
- 事前に配布されたライオン誌サポーターからのアンケート結果を検討した。

閉会あいさつ 澁田繁晴委員長

### 【次回以降委員会開催予定】

2月9日(木)	13:00~16:30	第7回会議	ライオン誌事務所	
	※15:30~16:30	被災クラブとのウェブ・ミーティング		
2月10日(金)	13:00~	監査委員監査	ライオン誌事務所	※委員長、編集長
3月8日(木)	13:00~16:30	第8回会議	ライオン誌事務所	
4月5日(木)	13:00~16:30	第9回会議	ライオン誌事務所	



ライオン誌日本語版事務所  
2011-2012 年度収支計算書

2011年11月

( 収入の部 )

科	目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項	目					
購 読 料 収 入		110,160,000	9,281,660	46,399,800	63,760,200	
	国際会費還付金	48,960,000	4,085,520	20,427,600	28,532,400	
	特別負担金	61,200,000	5,196,140	25,972,200	35,227,800	
広 告 料 収 入		8,000,000	1,783,987	4,352,442	3,647,558	
そ の 他 収 入		4,530,000	97,188	2,598,364	1,931,636	
	頒布品収支差額	2,500,000	96,212	770,935	1,729,065	
	受 取 利 息	130,000		110,864	19,136	
	雑 収 入	1,900,000	976	1,716,565	183,435	
繰 越 収 支 差 額 金		26,985,194			26,985,194	
合 計		149,675,194	11,162,835	53,350,606	96,324,588	

## ( 支 出 の 部 )

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
	項 目					
直	接 出 版 費	71,220,000	6,297,870	28,743,138	42,476,862	
	印 刷 費	43,700,000	3,638,250	18,191,250	25,508,750	
	送 送 事 務 費	13,500,000	1,160,702	5,756,558	7,743,442	
	旅 費 交 通 費	4,500,000	744,647	2,291,460	2,208,540	
	編 集 関 係 諸 費	500,000	11,976	74,880	425,120	
	原 稿 料 ・ 編 集 費	9,000,000	740,775	2,424,610	6,575,390	
	広 告 関 係 諸 費	20,000	1,520	4,380	15,620	
委	員 会 費	5,450,000	308,690	2,115,094	3,334,906	
	旅 費 交 通 費	5,400,000	308,690	2,096,660	3,303,340	
	会 議 費					
	雑 費	50,000		18,434	31,566	
東	日 本 大 震 災 被 災 クラブ 特 別 費	1,100,000	89,328	446,640	653,360	
事	務 費	57,931,000	3,827,186	19,570,453	38,360,547	
	人 件 費	33,000,000	2,326,660	11,608,450	21,391,550	
	福 利 厚 生 費	5,000,000	357,923	1,513,902	3,486,098	
	旅 費 交 通 費	1,200,000	720	571,850	628,150	
	通 信 費	1,500,000	68,714	474,059	1,025,941	
	備 品 費	200,000			200,000	
	事 務 用 品 費	900,000	111,285	287,445	612,555	
	図 書 費	20,000	1,150	5,750	14,250	
	消 耗 品 費	20,000	2,100	3,262	16,738	
	I T 関 連 費	1,850,000	140,910	757,050	1,092,950	
	顧 問 料	851,000		252,000	599,000	
	支 払 手 数 料	90,000	4,155	36,780	53,220	
	保 守 ・ 修 繕 費	50,000		12,600	37,400	
	借 室 料	7,700,000	639,975	3,199,875	4,500,125	
	水 道 光 熱 料	300,000	12,066	61,095	238,905	
	租 税 公 課	400,000		22,167	377,833	
	減 価 償 却 費	850,000			850,000	
	退 職 給 付 費 用	3,500,000	115,000	575,000	2,925,000	
	雑 費	500,000	46,528	169,105	330,895	
	固 定 資 産 廃 棄 損			20,063	△ 20,063	
( 収 入 )-	( 支 出 )	13,974,194			13,974,194	
当 期 収 支 差 額 金			639,761	2,475,281	△ 2,475,281	
合 計		149,675,194	11,162,835	53,350,606	96,324,588	

# 貸借対照表

平成 23 年 11 月 30 日 現在

【全社合計】

ライオン誌日本語版事務所

単位： 円

資 産 の 部		
【流 動 資 産】		
100現金・預金	264,082,843	
127未収入金	2,303,348	
136貯蔵品	48,355	
137頒布品	1,579,077	
140前払費用	996,836	
144仮払金	220,380	
流動資産合計		269,230,839
【固 定 資 産】		
(有 形 固 定 資 産)		
206什器備品	5,520,190	
211減価償却累計額	△5,088,813	
有形固定資産合計	431,377	
(無 形 固 定 資 産)		
214電話加入権	239,200	
215コンピュータソフトウェア	928,288	
無形固定資産合計	1,167,488	
(投資その他の資産)		
223差入保証金	1,462,800	
投資その他の資産合計	1,462,800	
固定資産合計		3,061,665
資産の部合計		272,292,504
負 債 の 部		
【流 動 負 債】		
311未払金	6,259,202	
314仮受金	52,899	
316前受会費	4,085,520	
317預り金	328,854	
323送料預り金	707,899	
流動負債合計		11,434,374
【固 定 負 債】		
330退職給付引当金	35,476,216	
固定負債合計		35,476,216
負債の部合計		46,910,590
純 資 産 の 部		
【正 味 財 産】		
【基 金】		130,000,000
【剰 余 金】		
405資料整備準備金	13,342,234	
406事務改善等積立金	26,556,289	
407為替差損準備金	26,022,916	
(その他利益剰余金)		
繰越利益剰余金	29,460,475	
その他利益剰余金合計	29,460,475	
剰余金合計		95,381,914
正味財産合計		225,381,914
純資産の部合計		225,381,914
負債・純資産の部合計		272,292,504